

2024年度大学院入学試験問題および解答用紙(一般入試)

受験番号	
------	--

(神戸大学大学院工学研究科博士課程前期課程)

専門科目 (一)	建築計画	(4枚中の1枚) 配点 25点	採 点	
	都市計画			
	建築史			

問1ー1 図1～3の建物名を解答欄に記しなさい。また、図1～3の建物の完成年の早い順に図の番号を解答欄に記しなさい。(12点)

【姫路城天守／外観写真】	【慈照寺銀閣／外観写真】	【法隆寺金堂／外観写真】
-------------------------	-------------------------	-------------------------

図1 Fig.1

図2 Fig.2

図3 Fig.3

	建物名 Name of Building			完成年の早い順 Order of the completion year using figure number (starting with the earliest)
	図1 Fig.1	図2 Fig.2	図3 Fig.3	
解答欄				⇒ ⇒

問1ー2 (1) 図4～7の建物の様式名を語群【A】から選び、その番号を解答欄に記しなさい。(2) 図4～7の建物名を解答欄に記入しなさい。(3) 図4、図5を設計した建築家名を解答欄に記しなさい。(4) 図4～7の建物の完成年の早い順に図の番号を解答欄に記しなさい。(13点)

		【サン・カルロ・アッレ・クワトロ・フォンターネ教会堂／外観写真】	【サンロレンツォ教会堂付属ラウレンツィアーナ図書館前室／内観写真】	【ルーアンのサン・マクレー教会堂／部分詳細写真、外観写真】	【イギリス国会議事堂／外観写真】
		図4 Fig.4	図5 Fig.5	図6 Fig.6	図7 Fig.7
解答欄	(1) 様式 Style				
	(2) 建物名 Name of Building				
	(3) 建築家名 Name of Architect				
	(4) 完成年の早い順 Order of the completion year using figure number (starting with the earliest)	⇒	⇒	⇒	

語群/Choices 【A】 ①ビザンチン Byzantine ②古代ローマ Ancient Roman ③古代ギリシア Ancient Greek ④初期ルネサンス Early Renaissance ⑤盛期ルネサンス High Renaissance ⑥マニエリスム Mannerism ⑦イタリア・バロック Italian Baroque ⑧ドイツ・バロック German Baroque ⑨フランス・バロック French Baroque ⑩初期ゴシック Early Gothic ⑪レイヨナン・ゴシック Rayonnant Gothic ⑫盛期(古典期)ゴシック High Gothic / Classical Gothic ⑬フランボワイヤン・ゴシック Flamboyant Gothic ⑭ゴシック・リヴァイヴァル Gothic Revival ⑮グリーク・リヴァイヴァル Greek Revival ⑯フランス・ロマネスク French Romanesque ⑰ドイツ・ロマネスク German Romanesque

2024年度大学院入学試験問題および解答用紙(一般入試)

受験番号	
------	--

(神戸大学大学院工学研究科博士課程前期課程)

専門科目 (一)	建築計画 都市計画 建築史	(4枚中の2枚) 配点 25点	採点	
----------	---------------------	-----------------	----	--

問2-1 図1～4が示す建築作品名および設計した建築家名を解答欄 A に記しなさい。また図1～4が示す建築作品の完成年の早い順に図の番号を解答欄 A に記しなさい。(12点)

図1 Fig.1	図2 Fig.2	図3 Fig.3	図4 Fig.4

		図1 Fig.1	図2 Fig.2	図3 Fig.3	図4 Fig.4
解答欄 A	建築作品名 Name of Work				
	建築家名 Name of Architect				
	完成年の早い順 Order of the completion year using figure number (starting with the earliest)	⇒・ ⇒・ ⇒・			

問2-2 下図に示す建築作品(出題建物)は1977年竣工の美術館である。この作品について下記の問いに答えなさい。(13点)

①立面図 (1970年コンペ時)	②断面図 (1977年竣工時)	③部分詳細図

この作品の建築作品名、所在地(都市名)、建築家名、③部分詳細図に記された部材の呼称と機能について、解答欄 B に記述しなさい。

解答欄 B	建築作品名 Name of Work	所在地(都市名) Location (Name of City)	建築家名 Name of Architect
	③部分詳細図に記されている鑄鉄製の部材の呼称と機能を答えなさい。 Answer the name and function of the cast iron parts shown in the partial detail drawing③.		
	呼称 (name) : 機能 (function) :		

2024年度大学院入学試験問題および解答用紙(一般入試)

受験番号	
------	--

(神戸大学大学院工学研究科博士課程前期課程)

専門科目 (一)	建築計画 都市計画 建築史	(4枚中の3枚) 配点 25点	採 点	
----------	---------------------	-----------------	--------	--

問3-1 住居計画の家族・世帯に関する設問である。下の図は1995年から2020年の国勢調査における日本全国の一般世帯の家族類型の割合の推移を示している。この図に関する以下の問いに答えなさい。(13点)

(1) 図中の()内の①から③に当てはまる最も適切な言葉を語群Aから選び解答欄に記入しなさい。

【語群A / Choices [A]】

単独 / One-person、核家族 / Nuclear family、
3世代 / Three-generation、
夫婦と子供から成る / A married couple with their child(ren)、
夫婦と両親から成る / A couple with their parents、
兄弟姉妹のみから成る / Brothers or sisters only

【解答欄 Answer column】

①
②
③

図 1995年から2020年の全国の一般世帯の家族類型の割合の推移(国勢調査)

(2) 図に示す2010年の国勢調査にあらわれている家族・世帯に関する最も特徴的な変化と、その変化が住居計画に与える影響を解答欄に記入しなさい。

【解答欄 Answer column】

最も特徴的な変化 The most characteristic changes	
住居計画に与える影響 The impact of these changes on the housing planning	

問3-2 建築計画に関する以下の文章のaからdに入る最も適切な言葉を語群Bから選び解答欄に記入しなさい。(12点)

- (1) 動作空間の大きさは、人体寸法、動作寸法、(a) 寸法の3つに基づくとともに、さらに、ゆとりの寸法を加味して決定される。
- (2) 建築物における活動の変化への対応やストック活用、長寿命化について、(b) と(c) の手法がある。(b) は老朽化した建築物などを修繕・改造・刷新することで性能を向上させる手法であり、(c) は時代のニーズに即して用途を変更し、再生、活用する手法である。
- (3) 福祉施設における(d) とは、10人程度の少人数の生活単位ごとに共用空間を設け、家庭的な雰囲気の中で生活をともにし、全室個室を基本として個別ケアを行うことである。この考え方を取り入れた小規模生活単位型の特別養護老人ホームが2002年度から制度化された。

【語群B / Choices [B]】

基準 / standard、伝統的 / traditional、物品 / article、プロポーション / proportion、コンバージョン / conversion、
サステナビリティ / sustainability、リノベーション / renovation、ミティゲーション / mitigation、ユニットケア / unit care、
デイケア / day care、地域包括ケア / community-based integrated care

【解答欄 Answer column】

a	b	c	d
---	---	---	---

2024年度大学院入学試験問題および解答用紙(一般入試)

受験番号	
------	--

(神戸大学大学院工学研究科博士課程前期課程)

専門科目 (一)	建築計画 都市計画 建築史	(4枚中の4枚) 配点 25点	採 点	
----------	---------------------	-----------------	--------	--

問4-1 国内外の都市計画に関連する下記の文章の①～⑤にあてはまる最も適切な用語を解答欄に書きなさい。(10点)

- (1) 公園や緑地、河川などの自然的要素を、緑化された主要な街路に結び付けていく手法を(①)と言う。日本の災害復興期の都市防災計画にも導入された。
- (2) 世界中の多くの都市で、街路空間を車中心から人中心の空間へと再構築し、沿道と路上を一体的に使って、人々が集い憩い多様な活動を繰り広げられる場にしていく取組が進められている。このような都市を(②)と呼ぶ。
- (3) 『守りやすい住空間』(1972)の著者(③)は犯罪をコントロールするための領域性や共同体の重要性を説いた。公的空間と私的空間の間に準公的空間や準私的空間を介在させ、それらの空間を段階的に移動するようになると、人々にとって安心しやすいだけでなく、犯罪者が入り込みにくいなど防犯性も高くなると指摘した。
- (4) 芦原義信は著書(④) (1979)の中で、街並みを決定する要素と建築の外観の見え方についての考察から、建築の本来の外観を規定している形態を第一次輪郭線、建築の外壁以外の突出物や一時的な附加物による形態を第二次輪郭線と定義した。
- (5) 土地区画整理事業は、道路、公園、河川等の公共施設を整備・改善し、宅地の利用の増進を図る事業である。地権者から土地を提供してもらう(⑤)を行い、この土地を公共用地を増やす分に充てる。

【解答欄】

①		②		③	
④		⑤			

問4-2 国内の都市計画の線引き制度について、次の設問の解答を解答欄に記入しなさい。(15点)

- (1) 「市街化区域」と「市街化調整区域」が何を指すかを記述し、これらを定める目的を説明しなさい。
- (2) 線引き制度の実効性を担保する「開発許可制度」が何を指すかを記述し、どのような都市問題に対する手段として制度が活用されるのかを具体的に例を挙げて説明しなさい。

【解答欄】

(1)	「市街化区域」：
	「市街化調整区域」：
	目的：
(2)	「開発許可制度」：
	都市問題に対応した制度の活用例：